

# 令和5年度 上島幼稚園 自己評価結果公表シート

## 1、本園の教育方針・目標

生活体験の中心である「あそび」は心身の調和のとれた発達の基礎を培う学習です。私たちは子どもたちが主体的に遊びを展開し、豊富に様々な体験を積み重ねることを重要と考えています。上島幼稚園は幼稚園教育要領を基に「健康な体」と「豊かな心」を持つ心身ともにバランスのとれた人間としての基礎づくりを目指しています。

- ・健康で明るくたくましい子ども
- ・友だちと仲良く遊べる子ども
- ・心情豊かな子ども
- ・自分で考えて行動できる子ども

## 2、本年度の年間目標

年間目標：豊かな発想！豊かな表現！

年少目標：園生活に慣れ、友達や教師と楽しく遊ぶ。

年中目標：教師や友達の思いに触れ合い、意欲的に楽しく表現する。

年長目標：友達と思いを伝えあいながら、協力して遊びや生活を作り出す。

## 3、評価項目の取組と評価

※自己評価は6項目に分かれ、各項目の設問を教員が解答しています。

※評価期間は本年度4～11月及び前年度12～3月とします。

※自己評価の評価ポイントは各項目及び設問<良い：3・普通：2・不十分：1>の平均ポイントです。評価は最高3点～最低1点で記載しています。

※学校関係者評価のポイントは各項目の取組と自己評価の<良い：3・普通：2・不十分：1>の評価です。評価点は評価委員の平均点です。最高3点～最低1点で記載しています。

項目	取組	自己評価	学校関係者評価	学校関係者意見
保育の計画性	園の教育方針・教育目標・年間目標に基づき、教育課程を編成し、年度当初の職員会議にて、共通理解を行う。期案を作成・反省し、保育・教育の実践に取組んでいる。また、園児一人ひとりの年間の個人目標を教師が設定し、子どもの様々な培いへの援助を促進している。	2.3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子登園などではなく、普段の園生活が見える参観会の実践をして欲しい。</li> <li>・毎月の歌まで計画されていて、素晴らしいと思いました。細かいところまで先生方で会議されて決めていただいているようで、とても感心しました。</li> <li>・サマーフェスタ、小規模でも行えると子ども達がすごく喜ぶと思います。</li> <li>・親子給食も継続して欲しいです。</li> <li>・年間計画をたて、目標を達成できるように先生方が話し合っている</li> </ul>
保育のあり方 ・ 子どもへの対応	主任者会議、学年会議、職員会議を定期的に行い、教育計画・保育計画を実践する。園児一人ひとりの発達・動向も各会議で報告・検討し、全教員が共通理解のうえ、子どもの実態に合わせた保育・援助を心掛けている。また、特別支援計画を作成し、特別支援児への個別援助（医療機関との連携）を実践している。	2.7	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方が子どもたちと笑顔でいろんなことに取り組まれていて素晴らしいと思いました。どの先生も園児の事をわかっているのめさすがだと思いました。</li> <li>・誕生月の子どもの親が誕生会を見学に行けると嬉しいです。</li> <li>・先生たちの向上心がうかがえる。</li> </ul>
保育者としての能力や良識	ヒヤリハットの活用。自己評価により保育者としての能力や良識を各教職員が反省し、自己の見直しによる改善努力を行っている。	2.7	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るくて元気な先生が多く気持ちがいいです。</li> <li>・優しい所があったり、厳しい所があったり、今後小学校などで困らないよう、愛のこもった指導をされていて素晴らしいと思いました。</li> <li>・日々子ども達の安全のため、努力している。今後よろしくお願いします。</li> </ul>
保護者への対応	園の様子の発信として、園便り・学年便り・HPの行事画像の更新等を定期的実施する。また、担任との連絡帳での対応の他、学期毎の個人面談を基本に、保護者の希望により常時面談する機会を設け関わりを深めている。	2.8	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に対してすごく配慮していただいで関心しています。先生方もとても話しやすいです。</li> <li>・連絡ノートに園の出来事や様子をよくお知らせして下さることが、本当にありがたいです。</li> <li>・それぞれの家庭に向き合い大変ですが子供の成長を保護者と共に育てて欲しい。</li> </ul>
地域の自然や社会との関わり	消防署見学・聴覚特別支援学校交流を実施。また、中学生の体験学習・教育実習生の受入れを行う。地域の保幼小中連絡会にて連携を行う。青少年の家での園外保育実施。	2	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部との交流が多く、子どもの刺激になって良いと思う。</li> <li>・安全を考慮しながら体験できる機会を続けてほしい。</li> </ul>

研修と研究	通常の研修会の他、ハイブリット研修、リモート研修会と研修が多様なスタイルになる。静岡県私立幼稚園協会・浜松市私立幼稚園協会の教員研修会等に参加する。	2	2.6	
その他の意見	/			全ての項目において、自己評価のポイントが前年度を上回ったことは、教員の方々の保育に対する真摯な取組みの表れだと思います。今後も更なる充実を期待します。

#### 4、自己評価のまとめ

##### <反省点・改善点より抜粋>

- ・安心して園生活が過ごせるような保育を目指していきたい。
- ・職員としっかりコミュニケーションをとるようにしたい。
- ・自分の意見を上手く伝えられるようになりたい。
- ・臨機な対応を行うために計画時より様々な場面を想定していきたい。

##### <教育活動の新しいアイデアより抜粋>

- ・満3歳児の園内ピクニック。
- ・園内で色遊びができるような花を栽培し、自由遊びの時などにおままごとに使えたら良いと思う。
- ・シートを敷くなどして、芝生の園庭でお弁当を食べる。
- ・玩具を学年によって変える。
- ・小規模でもいいのでサマーフェスタを復活させる。
- ・星組の浜松こども館への園外保育の復活。
- ・縦割りの活動を増やす。
- ・SDGsの活動。

##### <評価項目について>

・各教員の経験年数や自身への評価の視点により自己評価の違いがうかがえます。上記の改善点やアイデアでは各教員の意見、自己改革等が他にも多く挙げられています。これらの意識を子ども達への保育に向けていきたいと思いません。

#### 5、今後の課題と取組み

課題	取組
保育の計画性について	園児数減に対応した保育計画の見直し検討・実施をする。
研修と研究	前年度と同様に静岡県私立幼稚園振興協会や浜松市私立幼稚園協会の各研修・研究に積極的に参加して研鑽を積む。職員会議にて園で起きたヒヤリハットの事例を検証し、日々の保育に生かす。
防災	園の防災体制について毎年繰り返し確認を行う。園児の安全確保のため、マニュアルを見直し再確認する。
地域の自然や社会との関わり	中学生の職場体験学習、教育実習生等の受け入れを積極的に行い、地域社会と園児の関りを増やす。また、青少年の家での園外保育を継続する。